

令和8年

京都が好き
京都に住む
京都で働く



職場環境(京都府庁)



旧館 中庭



旧館 映画・ドラマロケ



新行政棟・文化庁



全景



アフターファイブに
バドミントン



旧館カフェでランチ



昼休みに京都御苑を
ランニング



職場環境(京都府総合庁舎)



昼休みにバレー(各総合庁舎)



昼休みに鴨川ジョギング(府立医大)



早起きして大江山(中丹西土木)



朝まずめ夕まずめに宮津湾へ(丹後土木)



私たちの仕事(建築職の配属先)

府庁を中心に、各地域を所管する土木事務所を含め、府全域が活躍の場



伊根の舟屋
(伝建地区)



天橋立

丹後土木事務所 建築住宅課
＜宮津総合庁舎、宮津市＞



舞鶴赤レンガ倉庫

中丹西土木事務所 建築住宅課
＜福知山総合庁舎、福知山市＞



福知山城

中丹東土木事務所 建築住宅課
＜綾部総合庁舎、綾部市＞



美山町北集落
(伝建地区)

南丹土木事務所 建築住宅課
＜園部総合庁舎、南丹市＞



向日市竹の径

乙訓土木事務所 建築住宅課
＜乙訓総合庁舎、向日市＞



八幡男山団地

山城北土木事務所 建築住宅課
＜田辺総合庁舎、京田辺市＞

山城南土木事務所 建築住宅課
＜木津総合庁舎、木津川市＞

京都府庁

- 建設交通部
 - ・建築指導課
 - ・住宅政策課
 - ・住宅整備課
 - ・営繕課
 - ・都市計画課
- 商工労働観光部
 - ・文化学術研究都市推進課
- 文化施設政策監付
- 農林水産部
 - ・林業振興課
- 総務部
 - ・府有資産活用課



各種委員会等

- 教育委員会(府立学校等)
- 公安委員会(警察)
- 京都府立大学
- 京都府立医科大学
- 京都府住宅供給公社

ほか

- (一財)京都技術サポートセンター



和東町茶畑

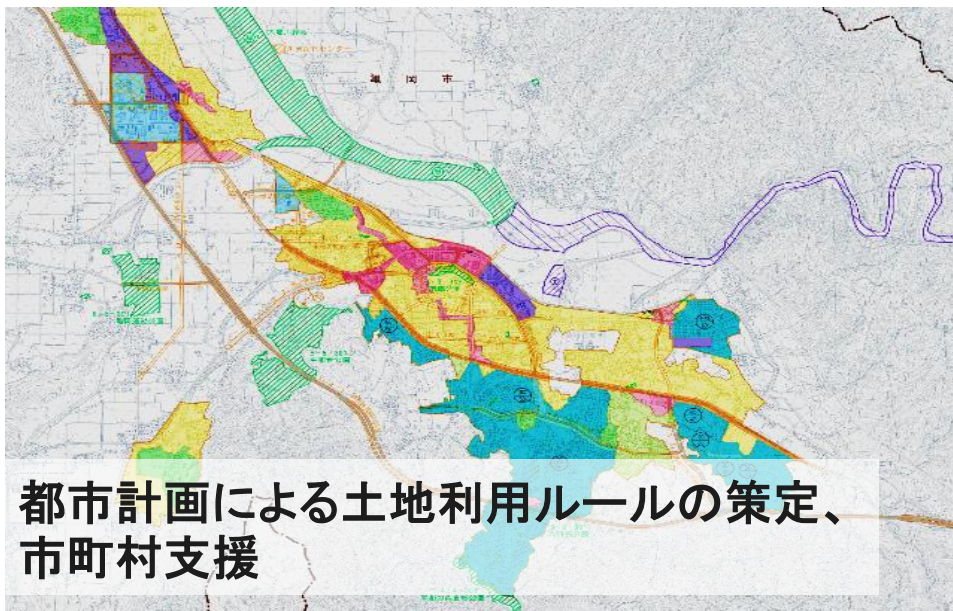


学研都市



まちづくり行政

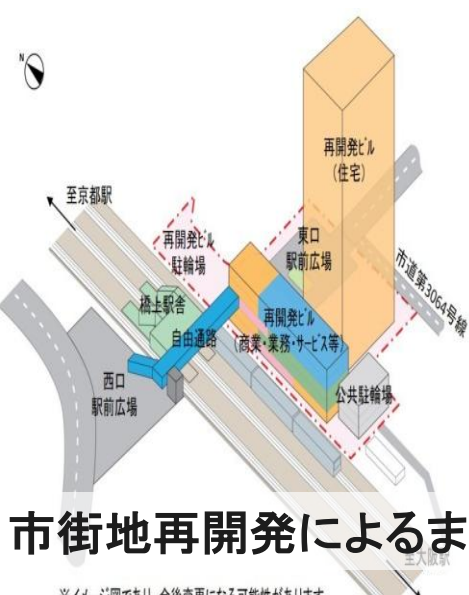
“都市計画、景観、まちづくり事業、宅地造成”



都市計画による土地利用ルール
の策定、市町村支援



地域の景観まちづくり活動を支援



市街地再開発によるまちづくり



出展：JR向日町駅周辺地区市街地再開発組合



関西文化学術研究都市のまちづくり



建築指導行政

“安心安全な建築物(建築基準法、耐震改修、バリアフリー)、環境対策”

建築確認、省エネ基準の図面審査



建築物の安全性の確保①(計画段階)
・適正・円滑な建築確認制度の推進
・適正な建築設計の推進

バリアフリー化の促進



全ての人々に安心・快適な施設づくりの推進
・適正な建築設計の推進
・バリアフリー施策の普及啓発

現場検査



建築物の安全性の確保②(工事、維持保全段階)
・適正な工事監理、中間・完了検査の推進
・建築物の適正な維持管理による安全性の確保

耐震化の促進



既存建築物の安全性の確保
・耐震診断、耐震改修の促進
・耐震施策の普及啓発



住宅行政

“府営住宅の整備・管理、安心安全な住まい確保のために”

京都府住生活基本計画

《重点目標Ⅰ》人とコミュニティを大切にする共生の京都府

◆目標1

子育てにやさしい社会を支える住まい・まちづくり

◆目標2

高齢者をはじめ全ての世代が暮らしやすい住まい・まちづくり

◆目標3

重層的な住宅セーフティネットにより全ての人が安心して暮らせる住生活の実現

《重点目標Ⅱ》地域の文化と新たな価値を伝え創造する京都府

◆目標4

新たな日常を踏まえた地域の文化・特性を継承・発展させる住まい・まちづくり

◆目標5

住宅ストックの活用促進と地域交流を促進する住まい・まちづくり

《重点目標Ⅲ》環境にやさしく安心・安全な京都府

◆目標6

環境にやさしい社会を支える住まい・まちづくり

◆目標7

激甚化・頻発化する災害に備え、府民の安心・安全を守る住まい・まちづくり

《横断的效果促進目標》

◆目標8

住まいに関する多様な情報の提供と住教育による府民の住まい力の向上

施策への展開例

第4号棟(住棟)

木造3階建 準耐火建築物



城南団地建替工事
(4号棟竣工、3号棟工事中)

・次世代下宿「京都ソリデール」事業



・大規模自然災害による被災住宅の再建支援

良好な民間住宅の供給促進

・長期優良住宅建築等計画の認定 等



宮繕行政

府施設の建築、改修

“安心安全、環境配慮、使いやすい、建築BIMの活用(試行中)”



京都アリーナ(仮称)整備
(工事中)



宇治警察署建替工事
(工事中)



京都府立洛南病院整備
(第1期完成)



新行政棟・文化庁移転
令和4年末竣工



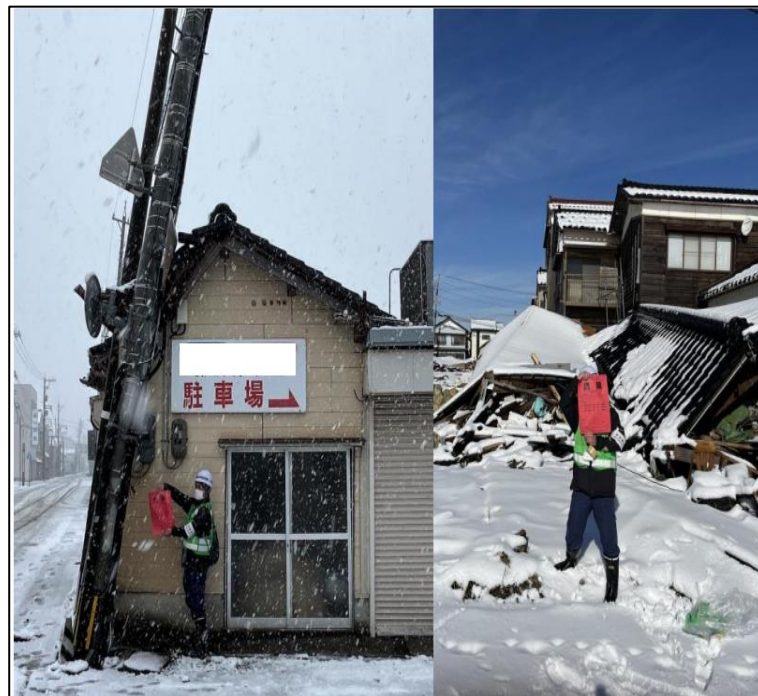
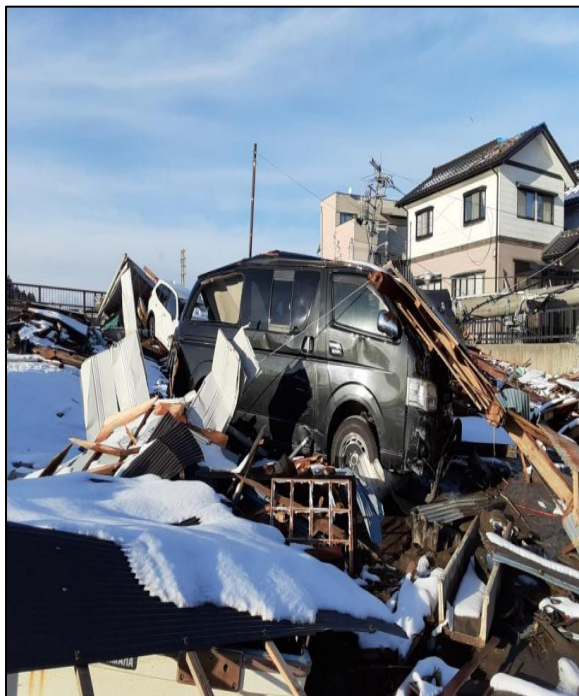
サンガスタジアム by KYOCERA
令和2年竣工



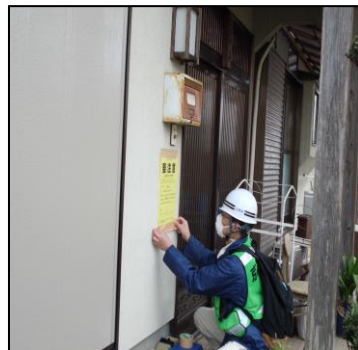
災害時の被災地支援

“府外の被災地等を建築系技術職員の派遣により支援。”

R6 能登半島地震＜建築物危険度判定＞



H28 熊本地震



H30 大阪北部地震



H23 東日本大震災





建築・建築設備系技術職員等育成プログラム

～ 建築系技術資格の取得もしっかりサポート ～

◆各職務系統に応じた研修実施による人材育成

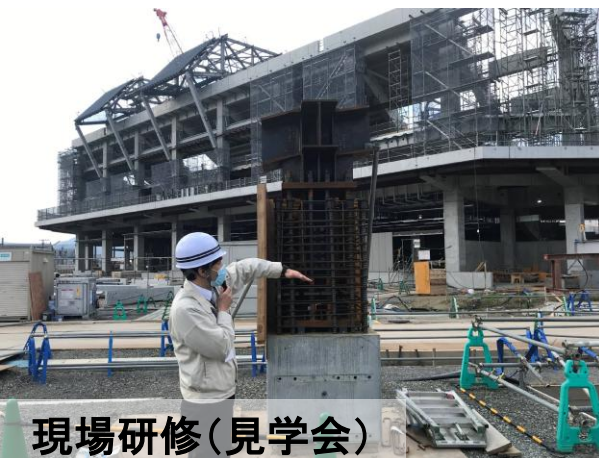
- ・建築行政系、営繕系、住宅系

◆資格取得支援研修の実施

- ・建築基準適合判定資格者検定の庁内対策講座の実施など

◆資格取得支援制度（助成制度）

- ・一級建築士、建築設備士
- ・建築基準適合判定資格者



現場研修（見学会）



審査実務研修



派遣研修（東京都）

先輩職員の声

(※氏名・経歴は職員の声作成時点の内容となります)

八木 加奈(平成29年度採用)



● 経歴 平成29年4月 教育庁管理部管理課

ある一日のスケジュール	
8:30	● 出勤、本日の予定、業務の確認
8:40	● メールチェック
9:00	● 学校の不具合を現場確認するために出張
	● 昼食
12:00	● 職場に戻り現場状況を確認の報告
14:00	● 今後の進め方を課内で協議
	報告書作成
	● 明日の業務の準備
18:00	● 退庁

現在の職場について教えてください

教育庁は、京都府庁敷地内にあります。丸太町駅から徒歩10分程度の場所にあり、御所も近いので昼休みに散歩をしたりできる落ち着いた環境です。

職場は、年齢の若い方が多く、スポーツ大会や課内旅行等のイベントもあり和気藹々とした雰囲気だと感じています。

主にどのような業務を担当されていますか？

管理課は、教育庁の監理する建物(府立学校)の新築や改修工事を担当する部署です。具体的には、設計や工事をどういったスケジュールで行うのかを学校や業者と調整しながら考える仕事や、来年度の施設整備の予算関係の仕事、学校施設が適切に維持管理できているかどうか定期点検の委託業務などに関わっています。

実際に働いてみて感じたことや、感想は？

入庁するまでは、内勤のイメージを持っていましたが、学校から施設の不具合の連絡が入ると現場に行き体育館の床下に潜ることや、台風の災害現場に行く等思っていた以上に外勤が多いと感じています。建築の専門的な知識の他、知らないことがたくさんありますが、周りの先輩に助けていただきながら毎日仕事を進めています。

受験される皆さんへのメッセージ

公務員の建築職は建築に係わる幅広い分野において、様々な仕事を体験できる職種です。建築職の先輩方とのつながりはもちろんのこと、行政職やその他の技術職の方々とのつながりもとても魅力的な職場だと感じています。人とのつながりを大切にして仕事をしたいと思っている人には是非来て欲しいです。みなさんと共に働ける日を楽しみにしています！

市田 瑞喜(平成30年度採用)



● 経歴 平成30年4月 京都府警察本部会計課

ある一日のスケジュール	
9:00	● 出勤、本日の予定、業務の確認
9:10	● メールチェック
9:20	● 施設の不具合を現場確認するために出張
	● 昼食
12:00	● 職場に戻り現場状況を確認の報告
14:00	● 今後の進め方を課内で協議
	報告書作成
	● 明日の業務の準備
18:00	● 退勤

現在の職場について教えてください

京都府警察本部は、京都府庁敷地内にあります。丸太町駅から徒歩10分程度の場所にあります。

職場は、明るい雰囲気、レクリエーション(スポーツ・旅行等)や課内で飲み会等もあり和気藹々とした雰囲気だと感じています。

主にどのような業務を担当されていますか？

京都府警察本部会計課管轄係は、警察施設の新築工事や改修工事を担当する部署です。具体的には、設計業務や工事監理といった業務をどういったスケジュールで行うのか、適切に設計・施工がされているかを警察署や業者と調整していくような仕事をしています。

実際に働いてみて感じたことや、感想は？

入庁するまでは、内勤のイメージを持っていましたが、実際に警察施設の現場に行くことが多く、専門的な建築の知識が必要だと感じました。業務をしていく上で知らないことがたくさんありますが、周りの先輩や上司に助けていただきながら毎日仕事を進めています。

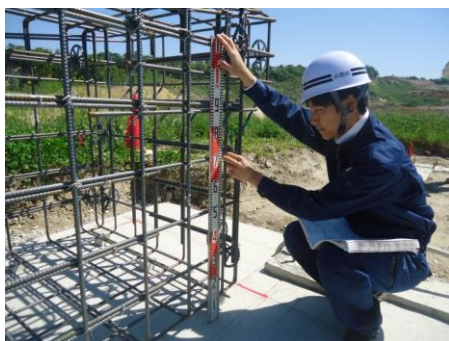
受験される皆さんへのメッセージ

公務員の建築職は建築に係わる幅広い分野において、様々な仕事を体験できる職種です。職場の先輩方とのつながりはもちろんのこと、イベントや行事を経て、同期とのつながりもできる仕事だと感じています。警察施設の工事は減多に経験できないことが多くあり、毎日勉強になることばかりです。みなさんと共に働ける日を楽しみにしています！

先輩職員の声

(※氏名・経歴は職員の声作成時点の内容となります)

梅垣 心太郎(平成 30 年度採用)



● 経歴 平成 30 年 4 月 建設交通部営繕課 配属

ある一日のスケジュール	
8:00	● 出勤、本日の予定業務の確認
8:30	● メールチェック
9:00	● 次年度工事予定計画についてヒアリング
11:00	● ヒアリングの報告書作成
12:00	● 同期と食堂で昼食
13:00	● 工事予定施設の現地調査
15:00	● 帰庁し、現地調査報告書作成
17:30	● 退庁

現在の職場について教えてください

営繕課は京都府施設の新築や改修の設計、工事を監理する部署です。工事の内容、予算、スケジュール等を計画し、施設や業者の方と協力し工事完了を目指します。また工事に関わる基準の策定なども行っています。営繕課の職員は、若手職員も多く活気のある職場です。府庁周辺には居酒屋も点在しており、仕事終わりに先輩、上司に飲み会に連れていってもらったりしています。

主にどのような業務を担当されていますか？

施設の工事を予定している事業課に対し、工事計画のヒアリングや現地調査を実施し、工事内容やスケジュールの調整を行います。次年度の施設整備工事に関わる予算関係の業務などにも関わっています。また、京都府内の市町村への公共施設に関係する情報提供なども行っています。

実際に働いてみて感じたことや、感想は？

建築基準法だけでなく、公共施設に関わる基準、消防法、福祉のまちづくり条例等様々な法律や基準があることに驚きました。これらの基準を覚えることは非常に苦労していますが、公共施設を利用される府民の方の安全性や快適性等を確保するために定められているものなのでしっかり身につけ、一級建築士の取得にも繋げていきたいと感じています。

受験される皆さんへのメッセージ

公務員の建築職は設計や工事の監理業務だけでなく、指導業務、基準の作成業務等、建築に係わる様々な仕事を経験できる職種です。また府内の様々な公共施設の工事を行うので、時には自分が学生の頃使用した施設の工事にも携わることもあるやりがいのある職場です。業務の中で、府民の方だけでなく、様々な府職員の方と関わる業務が多いので、多くの方と繋がることができるのも建築職の魅力だと感じています。職場でお会いできることを楽しみにしています！

岡本 武士(平成 30 年度採用)



● 経歴 平成 30 年 4 月 建設交通部住宅課 配属

ある一日のスケジュール	
8:15	● 出勤、本日の予定、業務の確認
8:30	● メールチェック
9:00	● 市町村からの申請確認&補正指示
10:00	● サ高住の申請確認&補正指示
11:30	● 移動兼昼食
13:00	● 市役所で研修会 社会資本整備総合交付金等について、市町村へ説明
16:30	● 研修会の片付け等
17:15	● 研修会場の市職員と懇親会へ

現在の職場について教えてください

住宅課は府営住宅を筆頭に、府民の皆様の住宅に関する仕事を担当しています。課内には同年代の若手職員も多く、和やかな雰囲気です。夏場には住宅課職員の仕事に対する熱さのせいなのか、室温も相当高くなるので、是非体験してもらいたいです。

主にどのような業務を担当されていますか？

サービス付き高齢者向け住宅の登録事務、リフォーム融資、予算・国費関係等、住宅施策全般の業務を担当しています。府営住宅に係る業務は課内の他担当で行なっていますが、市町村指導等で工事の現場確認に行くこともあります。府民、業者、金融機関、市町村の職員等、幅広いジャンルの方々と触れ合うことができます。

実際に働いてみて感じたことや、感想は？

建築職ということで、工事の施工管理等、建築的な仕事に従事すると思っていましたが、蓋を開けてみると、建築職の業務は幅広く(金融機関とやり取りするなんて!!)、今となっては業務の面白みを感じています。市役所や町役場と比べて、府民対応は少ないかもしれませんが、国と市町村の間の重要なポジションとして、責任感とやりがいにあふれています。

受験される皆さんへのメッセージ

僕自身は広島県出身ですが、大学入学を機に京都へ来て、卒業後も京都に住みたい！京都で働きたい！と思うようになり、京都府職員を志望しました。出身地は関係ありません。京都府が好きの方は是非一緒に働きましょう！そして観光客だけでなく、全ての方にとって魅力的な京都府を作っていきましょう！！皆さんと一緒に働ける日を、楽しみに待っています。

【京都府職員／技術職】建築

◆ 仕事概要

建築指導、宅地造成等の規制、住宅建設計画、府有施設の建設・維持管理などの業務
主に「建築行政」と「施設建築（営繕）」の2種類の業務に分類されます。

◆ 主な配属先

本庁（建築指導課、住宅課、営繕課、都市計画課）、各土木事務所など

◆ 京都府の「建築」職の特色

天橋立などがある北部地域から茶畑が広がる南部地域まで、全国的にも有名な観光資源や文化のある京都府全域で、後生に残る建築や都市整備を行うことができます。



サンガスタジアム by KYOCERA（京都府立京都スタジアム）



サンガスタジアム by KYOCERA（京都府立京都スタジアム）

公共施設マネジメント（営繕）

誰もが利用しやすい建築物（空間）をつくる

魅力ある「まち」を築くためには、安全で快適な生活を送ることができる良好な住環境や、地域社会の中核施設としての公共建築物の役割が重要です。

公共施設マネジメント（営繕）業務では建築物の設計及び工事監理を行い、府民の方に利用しやすい建築物（空間）をつくることを目指しています。関係部署や設計事務所と協議して計画から設計を行い、工事を発注後も監督員として工事現場に足を運び、「建築物」の完成まで携わります。

後世に残る「もの」づくりを行います。



住宅耐震化事業（筋交いの設置）

都市計画・まちづくり指導（建築行政）

安心で安全な京都府のまちを築く

誰もが安心して生活できるよう、都市計画・まちづくりにおいて法令は重要な役割を果たしています。

建築行政では、建築基準法、都市計画法などの法令に基づき、無秩序な「都市」や「まち」が出来ることのないように指導を行っています。また、建物が危険な状態ではないか定期的に検査・報告を求めたり、いつ発生するか予測できない大地震から府民の方々の命を守るため、住宅の耐震化に対する補助なども行っています。

安心で安全な京都府の「まち」づくりを行います。

